

意見書案第1号

米国によるイランへの攻撃に抗議する意見書

上記の意見書を次のとおり提出する。

令和8年3月18日提出

提出者
向日市議会議員 米重健男

賛成者
向日市議会議員 丹野直次
〃 杉谷伸夫

米国によるイランへの攻撃に抗議する意見書

米国がイランに対して行った軍事攻撃は、国連憲章および国際法の原則に反する重大な行為であり、地域の緊張を一層高めるものである。私たちは、このような武力行使に抗議する。

国際紛争は、武力ではなく対話と外交によって解決されるべきである。とりわけ中東地域は、長年にわたり紛争と不安定が続いており、軍事的手段の応酬は報復の連鎖を招き、民間人の生命と安全を脅かすだけである。国際社会が求められているのは、緊張の激化ではなく、外交努力の強化である。

向日市議会は、日米同盟を絶対視し無批判に追随する姿勢をとるのではなく、平和外交の先頭に立つことを日本政府に求めるものであり、日本政府は、米国の軍事行動を支持・容認するのではなく、即時の武力行使中止と対話による解決を強く働きかけるべきである。

また、日本が中東地域との友好関係を築いてきた立場を生かし、関係国との橋渡し役を果たすことこそ求められている。軍事力の拡大ではなく、国連を中心とした平和的枠組みの強化こそが、国際社会の安定に資する道である。

よって、向日市議会は、米国によるイランへの軍事攻撃に抗議するとともに、日本政府に対し、憲法の平和主義に立脚した主体的かつ積極的な平和外交を展開することを求めるものである。

以上、地方自治法第99条に基づき意見書を提出する。

令和8年3月18日

京都府向日市議会